

アダルトショップの万引き娘

2014/6/17

Var. 1. 02

シナリオ…合同会社クプー

サークル名…ケチャップ味のマヨネーズ

「ごめんなさい もうしませんから許してください」

【店長】 「……『浅賀芽依（あさがめい） 18歳』」

【店長】 「この学校、けっこうなお嬢様校って聞いたことがあるんだけど。あなたのこの学生証、本物なのかしら」

【芽依】 「嘘じゃないです……本物です……」

【店長】 「そう。念のため、この学生証は預かっておくわね」

【芽依】 「え……………」

【店長】 「度胸あるわね。あなたみたいなお一人様のお客、ウチの店ではけっこう珍しいのに」

【店長】 「ウチの店、どんな店だか知らずに入ったわけじゃないでしょ？ 初めから万引きするつもりで来たの？」

【芽依】 「あの……やりたくてやったんじゃないんです。わたしは、イヤだって言っただけですけど……」

【店長】 「その前に謝罪の言葉とかないわけ？ 『ごめんなさい』とか『すみませんでした』とか」

（間）

【芽依】 「ごめんなさい。『あの店から何か盗って来て』って言われて……それで……」

【芽依】 「あの子たちの言うことに逆らえなくて……言うときかないと、ひどいことされるし……」

【店長】 「こっちの損害はどうでもいいわけ？ イヤならイヤって言えばいいでしょ」

【店長】 「うちもね、あなたたちみたいなガキ同然の若い子になめられるわけにはいかないのよ」

【店長】 「アダルトショップだからって甘く見てるのかも知れないけど、こういう店だからこそ筋は通しておかなきゃいけないの」

【芽依】 「ごめんなさい。ごめんなさい……もうしません。全部返します、もちろん、お金だって払います……だから……」

「店長」 「ああ、そう」

「店長」 「うちの店はね、こういう時は『ご自宅やご実家』『学校や職場などの所属先』『管轄の警察』にワンセットでお知らせすることにしてるの」

【芽依】 「！ そ、そんな……でも……」

（すすり泣きを始める芽依、店長の態度は変化なし）

「店長」 「自分の立場、本当にわかってる？ 『万引き』なんてフワフワした言葉じゃ実感できないかも知れないけど、あなた、窃盗の現行犯なのよ」

「店長」 「犯罪は犯罪なの。そのポスターにも書いてあるでしょ？ 『万引きは犯罪です』って」

【芽依】 「あ、あの……うちの親は、昼間はいないので……」

「店長」 「連絡先くらいはあるでしょう？ 携帯にかけるなり、職場に連絡するなり」

【芽依】 「ごめんなさい、許してください……このことが親にバレたら……」

「店長」 「親御さんをスルーしたとしても、学校や警察に連絡をすれば、当然そっちにも連絡が行くと思うけど」

【芽依】 「お願いします……学校に知られたら、奨学金も、推薦の話も取り消しになっちゃう……」

「店長」 「自分の都合のことしか気にしてないのね。犯罪者の自覚ないの？ 本気で悪いって思ってるの？」

【芽依】 「は、犯罪者……グスッ……わたし、そんなつもりじゃ……ううっ……」
（本格的に泣きじゃくり始める）

「店長」 「経歴に傷がつくのは間違いないわよね。履歴書の『賞罰』って項目知ってる？ あそこは前科持ちの人間が書くものなの」

【芽依】 「うううっ、う……前科なんて……そんな……わたしっ……」

（※正確にはちよつと違うのですが、脅し文句として※）

「店長」 「学校も除籍になるでしょうね。それとも温情で自主退学になるのかしら？」

「店長」 「学校をやめて働くとしても、そうなる前に刑務所での『おつとめ』が待ってるかもね」

（泣きじやくりながら、大声で必死に謝る芽依）

【芽依】 「うああああっ！！ ごめんなさい、ごめんなさいっ……！！ うっ、うえっ……」

【芽依】 「いじめられだぐなくて……いつ、嫌な目に、遭いたくなくて……わたし、わだしっ……それで……」

「店長」 「あなたの代わりにこっちが嫌な目に遭えて言うの？ 虫が良すぎるでしょ。そんなの」

【芽依】 「ううっ……もうじません、もう、ぜったいにじませんっ……！！ グスツ、こんなこと、もう、やらないですから……だから、だから……」

「店長」 「『だから』？ なに？」

【芽依】 「どんなことでもしますから、じますがらっ！！ だっ、なんでも、じますうっ！ 弁償だつてしますから……お願いしますううっ……！！」

「店長」 「『どんなことでも』……ねえ」

「店長」 「みんなそう言うのよ。そんな口先だけの言葉、信じられると思う？」

【芽依】 「うううっ……！！ んう、グスツ……しっ、信じてくださいいっ……おねがい……お願い、ですからあっ……うあ、あああああっ……」

2. 盗ったものはお返しします もうしませんから許してください

(※羞恥取り調べ 凌辱なし)

(鼻水をすすりながら泣きじゃくる芽依 店長の態度は変化なし)

【芽依】「うううつ、んえっ……グスッ……う……ズズッ……」

「店長」 「いつまで泣いてるの？ 泣いてたって解決しないわよ」

【芽依】「……で、でも……わたし……通報されるんですよね……グスッ、ううつ……」

「店長」 「いいから泣くのはやめなさい。まともに話もできないでしょ」

(店長に許されるかも知れない と、淡い期待を抱く芽依)

【芽依】「え……？ そ、それじゃあ……」

「店長」 「学校や警察に連絡するとしても、まずは事実確認はしておかないとね」

【芽依】「……あ……はい……そう……ですよね……」

(落胆しても、『なんでもする』といった手前、従順ではある)

【芽依】「グスッ、うう……わたし、クラスメイトにいじめられて……それで、このお店で万引きするように脅されて……」

「店長」 「その話はもう聞いたわ。確認したいのは盗んだ商品のことよ。カバンの中にある物で全部なの？」

(多少のすすり泣きは続いている)

【芽依】「ううつ……は、はい……そうです……全部、このカバンに入れました……」

「店長」 「一つずつ確認していくから、あなたが盗んだものの名前を申告して」

【芽依】「は、はい……わかり、ました……」

〔店長〕「それじゃ、まず一つ目」

（間）

〔店長〕「何やってるの？ 確認するって言ったでしょ？ ちゃんと読み上げて」

【芽依】「えっ……ええと……リラックスハーブ……『大淫香（だいいんこう）ヴィッシュヌ』」

（※商品名はすべて架空のものです※）

〔店長〕「はい、リラックスハーブが二袋。次は？」

【芽依】「ええと……で、『電魔（でんま）』？ それと……『遠隔ローターキット』」

〔店長〕「電器マッサージ器と、遠隔ローターが一セットずつ。はい、次」

【芽依】「……ばっ……ば……『バイブレーター ズッキン☆アクメ♡ピンポイントでクリ直撃♡』」

〔店長〕「バイブレーターが一本ね。次は？」

（間 卑猥な商品の名前を口にするのを躊躇する芽依）

〔店長〕「黙ってちゃわからないでしょ。パッケージの文字確認するだけじゃない。あなたが盗った物の確認なんだから、真面目にやりなさい」

【芽依】「は……はい……あの……」

【芽依】「『ごんぶと黒棒 ♪デカチンコックをリアルに再現♡』」

〔店長〕「デイルド一つね。……後は？」

【芽依】「……これだけ……だと、思います……」

「店長」 「これで全部？ レジから一番遠い棚の商品を手当たり次第に盗んだって感じね。こんなに盗んでバレないとも思ったの？」

【芽依】 「ううっ……グスッ、ごめんなさい……すみません……わたし、いじめられるのが怖くて、必死でっ……」

「店長」 「そうやって泣きじゃくっていれば、なんでも許されると思わないでね」

「店長」 「こういうもの、普段から使ってるの？」

【芽依】 「いつ、いいえ……！ 使ったことなんて……！ 今まで、見たことも無かったです……」

「店長」 「ふうん。本当かしらね？」

【芽依】 「ううっ……し、信じてください……」

(※尿意我慢凌辱)

(前よりも落ちついてはいるが、完全に泣き止んではおらず、まだぐずっているような状態の芽依)

【芽依】「うつ、うつ……信じてください、許してください……償いはしますから、どんなことでもしますから……」

【店長】「そうやって言い続けていれば、許してもらえんでも思ってるの？」

【芽依】「それは……」

【店長】「自分が可愛いから、後先考えずに他人に迷惑かけたんでしょ？ 犯罪までして」
(また泣きだす芽依)

【芽依】「ごめんなさい……ごめんなさいっ……」

【店長】「だから、その態度が薄っぺらいって言ってるの」

【店長】「さて……事実確認も終わったし、警察呼びましょうか」

【芽依】「！ ま、待ってください……！ お願いです……それだけは……」

【店長】「あら、警察よりも、学校の連絡を先にした方がいい？ 親御さんには事後報告でいいんだったわよね」

(泣きながら、とても言いにくそうに口ごもる芽依)

【芽依】「……あ……あのっ……それと……」

【店長】「何？ 時間稼ぎのつもりなの？」

【芽依】「いっ……いいえ……あ……あの……そうじゃ、なくて……」

【芽依】「…………お手洗いつて、どこにありますか……？」

「店長」 「あなた自分の立場わかってるの？」

【芽依】 「ヒッ……ごっつ、ごめんなさい……でも……おトイレ……が、我慢できなくて……」

「店長」 「そう、トイレに行きたいの？」

「店長」 「でも駄目よ。そのまま逃げられる可能性もあるし」

【芽依】 「そ、そんな……だって……漏れちゃいますっ……」

「店長」 「『なんでもする』って言ったわよね？ 私が駄目って言ったら駄目。そうでしょ？」

（また泣き始める）

【芽依】 「あ……ああっ……グスッ……うううっ……」

「店長」 「また泣くの？ まあ、オシッコの代わりにそっちで水分出してれば、多少は時間稼ぎになるかもね」

【芽依】 「ぞっ、ぞんな、つもりじゃ……ない、れふっ……うううっ……うぐっ……」

「店長」 「泣き落として何とかしようとしても無駄って言ったでしょ」

「店長」 「あ、そうそう。この事務所、中からロックしてあるから、無理矢理逃げ出そうとしてもドアも開かないし、出られないわよ」

【芽依】 「ううっ、うぐううっ……ぐじゅっ、うぐっ、そんな……」

「店長」 「グダグダ言ってるんで、少しぐらい根性見せてみなさいよ。トイレぐらい何よ。私の言うこと何でも聞くんでしょ？」

（泣きじやくりながらも、呼吸を整えて尿意を我慢しようとする芽依）

【芽依】 「はう、う……ふううっ、ふうっ……う……んぐっ……」

「店長」 「あら？ 我慢する気になった？」

「店長」 「もし我慢できたら、連絡するのを考え直してあげてもいいけど」

【芽依】「ほっ……本当、ですか……？」

【店長】「私はその気になるかどかは、あなたの態度次第よね」

【芽依】「……う……くっ……はあっ……はああっ……が、我慢……します……ううっ……」

【店長】「残念だったわね。盗品の中に尿道プラグがあれば、試してみることができたかも知れないのに」

（芽依は『尿道プラグ』がどんなものかはわかっていない。尿意を我慢するのに必死で、ほとんど上の空）

【芽依】「ふうっ……ふううっ……っ、はううっ……ふう、ふっ、ふううっ……」

【店長】「あら？ 辛そうだけど、どうしたの？ もう限界？ さっき我慢するって言ったばかりじゃない」

【芽依】「んう、んくううっ……我慢……して、ましゅ……はあっ、はあ、は……あ、ああっ……」

（限界が近いげ、必死の思いで我慢する芽依）

【店長】「そうよね、自分でなんでもするって言ったんですもの。この程度で音をあげたりなんてしないわよね」

【芽依】「はあっ、はあ、はあ……あ、うあっ……んふうっ……ま、まだ……平気……です……」

【芽依】「いっ……んくうっ……ふうっ、ふううっ……」

【芽依】「……い……いっ、い……に……さあん……」

【店長】「何やってるの？」

（気持ちの余裕がなく、店長に対してタメ口になってしまう芽依）

【芽依】「はううっ……う……んふうっ……か、かず……かぞえればっ、気が……まぎれると……んあ……思ってたえっ……」

【店長】「へえ……バカみたい」

【店長】「そうだ。そのまま頑張って数えてみなさいよ。1から30まで数えられたら、おトイレ行かせてあげてもいいわよ」

【芽依】「え……？ はっ、はひいっ！ やりまひゅっ、やり……ましゅ……」

（すでに、この時点で限界直前）

【芽依】「は、はぁ……んううっ……う……いつ、いーち……にいいいっ……さ、さぁ
ぁぁんっ……」

【店長】「だらしな顔してるわね。ちゃんと声出せてなかったら、1から数え直しにする
わよ」

【芽依】「んっ、んくっ……よ、よおおおんっ！ う……ごおおっ……ろ、くっ……んふう
うっ……」

【店長】「『んく』とか『んふ』なんて数字ないけど。はい、1から数え直し」

【芽依】「ううっ……は、はひいっ……」

【芽依】「はぁ、はぁあっ……い、いいいっ……にいいいっ……さっ、さんっ……！」

【芽依】「よ……よおおんっ……ごお……ろっ、くっ……しっ……しちいっ……」

【店長】「ちゃんと言ってるか微妙だけど、まあ良いわ。はい、続けて」

【芽依】「はうっ……はっ、ちっ……！ くっ……！ じ、じゅううううううううう
っ……」

（すでに呂律が回らなくなりかけている芽依 店長は芽依がほとんど限界なのを察している）

【芽依】「じゅ……いちっ、じゅ、にっ……んっ……じゅう……さ、ぁん……」

【芽依】「……じゅうう……よん……じゅうううう、ごおお……」

【店長】「はい、半分」

【店長】「意外と頑張るわね。大負けに負けて20までにしてあげましょうか？」

【芽依】「！ は……ぁ、ありがと……ごごごごごごごごご……！！ じゅ、ろくっ……じゅ
うっ……なな……」

【店長】「だから、『ありがとごごごごごごごごご』なんて数がどこにあるのよ？ はい、最初か
ら」

「許してください どんなことでもしますからもう一度チャンスをください」

(※懇願 凌辱なし)

(失禁後 今まで以上に泣きじやくる芽依 店長の態度は変化なし)

【芽依】「グスッ……うううっ……ヒックッ、ズルッ、う、うううっ……うぐ……うわああっ……」

【店長】「あらあら、こんなに？ 良く出たわねえ。汚らしい」

【芽依】「うぐっ、んううっ……あああっ……お、おもらひ、ひひやった……うあ、あああっ……いやあああっ……」

【店長】「イヤって、自分でやったんでしょ。後でちゃんと掃除なさいよね」
(涙と鼻水でグズグズの芽依)

【芽依】「う……グスッ、グズッ、ジュルルッ……ごめんなさい、ごべんなさいいっ……うあっ、ああっ……ゆ、ゆるひて……」

【店長】「さてと、時間が惜しいわ。警察に連絡しましょうか」

【芽依】「いゝっいやあああああああああああっ！！ ぞ、ぞれだけわっ、うお、おねがいじまずうっ！！ けえさっ、や……ああああっ……」

【店長】「情けなら十分かけてあげたでしょ。つきあってられないわ」

【店長】「なんでもするとかいいながら、たった20数えることもできないどころか、無様におもらしして。結局うちの損害増やただけじゃないの」

【芽依】「お願い、お願いいいいっ！ お願いしますっ！！ なんでもしますっ……今度はちゃんとっ……ごっ、ごんどごぞッ……」

【店長】「そうやって縋られても、迷惑なのよね。もうたくさんだわ」

【芽依】「ちゃんと、ちゃんと、やりまづがらあああっ！！ 弁償だって、ううっ、グズッ……ちゃんと、しまずっ……」

「店長」 「当たり前でしょ。こっちだってあんたにつきあわされてる間、店閉めてるんだから。賠償つけてもらいたいくらいよ」

「店長」 「だいたい、盗品なんてケチのついたものを店に並べ直すわけにもいかなし」

【芽依】 「ちゃんと、ちゃんと、やりまづがらあああつ！！ 弁償だって、ううつ、グズツ……ちゃんと、しまつ……」

【芽依】 「お、おねがい……あうつ、おねがいですつ……んぐつ……ああうつ……」

「店長」 「ホントにどんなことでもできるって言うなら、もう一度だけチャンスあげましようか？」

【芽依】 「！！……ほつ、ほんと……ですか……？ わ、わだしつ、なんでもやりまづつ……どんな、ことでもおつ……」

「店長」 「もしも、あなたがゲームをクリアできたら、連絡するのをやめてもいいわよ」

【芽依】 「はっ、はいいつ！！ やります、や、やりまづううつ！！！！ なんでもやりまづううつ！！！！」

「店長」 「こっちだってね、いい加減あなたの態度にイライラしてるのよ。少しくらいは楽しませてちょうだいね」

※ゲームA…遠隔ロータリーキット使用

※ゲームB…デイルド使用

(※助かるためのゲーム A 遠隔ローターキット使用)

「店長」 「これを使って、最後までイかに我慢ができれば、あなたの勝ちってことにしましょうか」

【芽依】 「これって……さっきの商品ですよ」

「店長」 「そう、『遠隔ローターキット』。あなたは数を数えるのが好きみたいだから、それぞれ10ずつ数えられたらクリアにしてあげる」

(たった10でいいのかと、淡い期待を抱く芽依 でも、それですむはずがない)

【芽依】 「え……？ 10で……いいんですか……」

「店長」 「そう。各パーツにつき10カウントよ。ローターは5つあるから、全部で50ね」

【芽依】 「こ、50……？ 10じゃなくて……50数えるまで、我慢しろってことですか……」

「店長」 「それじゃさっそく始めましょうか。ほら、服を脱ぎなさい」

【芽依】 「えっ……？ ぬ、脱ぐんですか？ そんな……心の準備が……」

「店長」 「服の上からつけたって意味がないでしょ？ イヤならやらなくてもいいのよ。予定通り連絡するだけだから」

【芽依】 「や、やりますっ、脱ぎます……！ やりますから……お願いですから、連絡だけは……」

「店長」 「そう、だったら早くしてね。服だけじゃなく下着も脱いで。裸になるのよ」

【芽依】 「はいっ……ううっ……ぬ、脱ぎます……脱ぎますから……」

(慌てて服を脱ぐ)

「店長」 「……手間かけさせるわね。それじゃ、始めるわよ。ほら、足開いてオマンコ見せなさい」

【芽依】 「は……はい……んうっ！！ うくうっ！ は、恥ずかしい……です……」

「店長」 「あら、処女だったの。ふうん、そう」

（処女だとわかって、店長は手心を加えるつもりはない）

「店長」 「まずは、クリトリスにひとつ」

（クリトリスの包皮を剥かれ、ローターを装着される）

【芽依】 「んふうっ！！ あ、んああっ……皮、剥いちや……んくううっ！！」

「店長」 「敏感なところに固定しないと意味ないでしょ？ まさか、今でイッてたりしないわよね？」

【芽依】 「イッ……い、いって……ませんっ……ふう、ふううっ……はあ、はああっ……大丈夫、です……っ」

「店長」 「そう。……次は膣口に当てるわよ」

（膣口にローターを装着される 立場上、芽依は『いや』『だめ』とは言えない）

【芽依】 「ウウウツ！ は、う……ふあ、ひあっ……っ、冷たいっ……あうっ……く……」

「店長」 「よかったわね、極細で。処女膜破ることなく入れられるわよ」

【芽依】 「ふう、ふうっ……はあ、はあっ……ま、まだ……あるんですか……？」

「店長」 「あとは、乳首用が左と右でひとつずつね。最後のひとは……後で考えましょうか」

（乳首にローターを装着される）

【芽依】「はううつ！ んくつ……胸……はうつ……く、くすぐったいです……んああつ……」

【店長】「それじゃ、始めるわよ。カウントはあなたが自分でやってね」

【芽依】「は、はい………はあつ………はあつ………は、始めます……」

（ローターの振動開始 呂律回らなくなりながらカウント開始 以下、10カウントごとに振動箇所が増える）

【芽依】「イッ！？ ツ……いい……ちいっ……はううつ、んくうつ……」

【芽依】「に……に……いっ……あ……んふああつ……！！ はあ、はあつ……」

【芽依】「さっ、さ……さあ……う……んんうつ！ ひうつ……ひやううつ……よお……おっ、うおっ！ おおおっ……んんっ……！！！」

【芽依】「ううつ……うくつ……ごっ、お、おおおっ……！！ ろおお……おくつ……うあ、あひや……」

【芽依】「んふうつ、ふううつ……ひっ、ひいっ……ひいひいひい……」

【芽依】「ふあ……はっ、はあちっ！ んくつ……きっ……きっ……！！ うくつ……きゅううつ……！！！」

【芽依】「んは、はああつ……はあ、はうっ……じっ……じ、じゅううつ……！！」

【店長】「10はクリアね。次、膣の振動開始」

【芽依】「ッ！！ うくつ……うあふううつ……じ、じゅううつ、い、ちっ……」

【芽依】「んおっ、おっ……じゅう……にっ……はあ、はああつ……じゅうつ、しゃんっ……」

【芽依】「ハア、ハア……う……じゅううつ……ヒッ……じゅう、よおおんっ……！！」

【芽依】「く……あ、あああつ！ じゅっ、じゅううつごお……じゅ、ろおくうつ……んあ、あ……じゅう……う……じゅうななっ……」

【芽依】「じゅ、はひいっ……じゅう……んっ、んくうつ……！！ んひいっ……い……にっ……じゅううつ……！！！」

【店長】「20クリア。次は右の乳首ね」

（クリトリス、膣口、右乳首の三ヶ所振動 イきそうになるけど何とか踏み止まる）

【芽依】「！！ はううつ、んうつ……ひやううつ！！ んくつ……にじゅつ、いいっち……にじゅう……にいいっ……」

【芽依】「はあっ……はあっ、はうう……だいじよぶ……まだ……いつてませんから……！ にっ……にじゅうつ、さん……っ！！！」

【芽依】「に……じゅう、よおおんっ！ にじゅ……ごお……にじゅ……りよきゅ……っ……」

【芽依】「……うう……にじゅう、なっ、なな……にじゅはひっ……にじゅう……きゅうううううっ……！！」

【芽依】「ひゃ……あ……さあああああ、んっ……う……じゅうううっ……」

【店長】「30クリア。次は左乳首」

(クリトリス、臍口、両乳首の四ヶ所振動 イきそうになるけど踏み止まる)

【芽依】「んくうううっ！ う……あ……、んっ……う……じゅうううっ……」

【店長】「あら、今度こそイッたかと思っただけだよだね」

【芽依】「んひっ……ふうっ、ふううっ……い、いって、まひえんっ……！ はう……さんじゅう、いいいちっ……」

【芽依】「さんじゅう……にいいっ……あ、あふ……さんじゅっ……さ……んんっ！！」

【芽依】「さ、さんじゅう……んくっ！ さんじゅう……よ、よおおおおんっ……！！」

【芽依】「ひゃ……はう……さんじゅううう……んごっ……おあっ……さんじゅうう……ううっ……ろ……く……」

【芽依】「しゃっ、しゃあっ……ひゃ……ひゃんじゅ……なにや……はあ、は……さ、ん、じゅうっ……はひいっ……！！」

【芽依】「……ふああっ、んあ……さんじゅううう……きっ……きゅうううっ！！ よっ……おんッ……じゅうううううううううっ！！」

【店長】「40クリア。最後の10カウントはここにしましょうか」

(残りのローターをアヌスに挿入して振動開始)

【芽依】「!? んああつ! うあ……そこっ……んおおつ、お、おひりっ……!?!」

【芽依】「うぐっ……そんな……きつ、きたない……ところ……いあつ……うはあつ、やああつ!!!」

【芽依】「ふあああつ!!! あつ、うああああつ!!! だ、め……んあつ、ああつ……かず、か、かぞえなきや……んお、おつ、ふおおつ……!!!」

【芽依】「お……うあ……っ! よん……じゅうつ……い……いいい……い、いあつ……あああつ!!!」

【芽依】「はああつ、はああああつ……よつ、よ……よおん、じゅ……ううつ……にっ……はぐ、あううつ……!!!」

【芽依】「だめ……か、かう、数……ああ、はあつ、ふはああつ……よんじゅうううつ……さつ、さあああああつ……んっ!!!」

【芽依】「お……よ……よ、よおおつ、よんっ、じゅ……っ……う……んううつ!!」

【芽依】「うああ、あ……はっ……はうっ……!!! うくうつ……」

【芽依】「よんじゅうううつ……っ……く……はううつ! よ……よんっ、じゅっ……よっ……う……んぐううつ! ひやうううつ!!!」

【芽依】「ら、らめえっ……もっ、んもおおつ……もおらめ……だめえええっ!!! うあ、ひやあああつ! いっ……う……くっ……」

(五ヶ所の同時振動には耐えきれず、果ててしまう芽依)

【芽依】「うはあああああああつ!!! いあ、ああんっ!!! おひり、おしりいつ!!! きちやう、きひやうつ! いっひやうううつ!!!」

【店長】「あら、イッちやつた? さすがに前と後同時に責めるのはキツかったかしら」

【芽依】「でや、うえ、でやめええ……はうううううつ!! んあおつ、おおおおおおおつ!!!」

【芽依】「ひやあつ……らっ、らめええええつ! だめ、らのにいい……きもひ、いっひいいいっ!!!」

【芽依】「ふあああああつ!!! んあああつ! んわ……わらひっ、いつ、いうこと、んあ……きくって、い、いっひやのにっ……」

【芽依】「でっ、でも、らめ……だめえ……んおお、おつ……とまらないのおつ!!! きもひ、い、いひいっ!!!」

【芽依】「はひやつ、うあ、んほおおおおおおおおおおつ!!! おひりも、うあ、あしよこもおつ……ぎもひいいいいいっ!!!!!!」

【芽依】「らめええええええ、ら、らめえっ……うあつ、んあつ……ろおたあ、しびれひやうううううつ!!!!!!」

【芽依】「んほおおつ! んあおつ、おほおおつ!!! いっ、いっ……ぐっ……!!! また……んぎゅううううううつ!!!!!! イクウウウツ!!!!!!」

19

(※助かるためのゲーム B デイルド使用)

「店長」 「それじゃ、服を脱いでちょうだい」

【芽依】 「え……どうして……なんですか」

「店長」 「あら、今さら口答え？ そんなことでもやるんでしょう？」

【芽依】 「ぬ、脱ぎますっ……すぐ脱ぎますっ……!!」
(慌てて服を脱ぐ芽依)

【芽依】 「あっ……あの……下着も、ですか……？」

「店長」 「当たり前でしょ。素っ裸になりなさい」

【芽依】 「はっ、はいうつ！ 全部脱ぎます！ すぐ脱ぎましゅっ！」

(全裸状態になる芽依)

【芽依】 「う……脱ぎましたっ……ブラもパンツも……ぜ、全部……」

「店長」 「そう。それじゃ、ゲームを始めましょうか。その格好でスクワット30回、連続でできたらあなたの勝ちってことにしてあげるしね」

(そう難しそうな提案に、油断をする芽依)

【芽依】 「スクワット……って、膝を曲げて、伸ばしての……あれですか？ ほんとに……30回で、いいんですか？」

「店長」 「ただし、両脚を横に開いてオマンコ丸見えの状態だね。あと、スクワットはこの上でやっってもらうから」

(盗品の大型デイルドを床に設置した状態でスクワット)

【芽依】「え、これ……さっきの商品……ですよね？」

【店長】「そうよ。あなたが盗んだデイルド。『ごんぶと黒棒　くデカチンコックをリアルに再現』って、売り文句の通り、大きくて素敵でしょ？」

【店長】「心配しなくても大丈夫よ。ちゃんと自立するから。腰を下ろせば先っぽから中に入っていくわ」

【芽依】「そ、そんな……わたし、その、エッチとかしたこともないし……こういうの、入れるとかは……」

【店長】「あら、オマンコじゃなくお尻がご希望？　それでも構わないわよ」

【店長】「まさか、今さら『できません』なんて言わないわよねえ？」

【芽依】「ううっ……く、ああ……や、やります……お、おしりです……」

【店長】「そう、せいぜい頑張ってね。いきなりアヌスじゃ辛いでしょうし、多少リラックスできるように、ハーブも使わせてあげる」

（よくわからないけれど、情けをかけられたことは芽依にもわかる）

【芽依】「は……は、い……ありがとうございます……」

【店長】「せめてもの情けよ。ここまで世話してあげるんだから、私をがっかりさせないでよね」

（芽依、ハーブ吸引　ドラッグ系なのであまり具体的には描写しない方が良さかと思われま

す）
【芽依】「ふあ、ふあいつ……ありがとお、ございます……んっ……スウッ……ふううっ……」

【芽依】「……はあ、はああっ……あ、あはっ……ハーブって……かわったニオイ……」

【店長】「それじゃ、そろそろ始めましょうか。カウントは1からね。腰を下ろして、戻してで『1カウント』よ」

（ハーブが効き始めている状態でスタート）

【芽依】「ひやはっ……ふああいつ……はじめ、ましゅ……」

【芽依】「足、広げてえ……横に開いて……あは、ははっ……オマンコ見せてえ……はじめますねえ……」

（腰を下ろし始める）

【芽依】「い……いいいいっ……ちっ……んひやあっ！！ あ……ふひっ！ 先っぽ……んあっ、冷たああいつ……！！」

【店長】「4秒以上スクワットの動きが止まったら、失格にするわよ」

【芽依】「ひやつ、ひやいいっ！ んあっ、あ……あふううっ！！」

【芽依】「んお……おっ、おほおおおっ……おしりに、はあ、はああっ……ちよつとだけ先っぽ……んお、おあおおっ！ メリって……」

（ハーブがきき始めているので、それほど苦痛を伴う絶叫には至らない。アへ声に近い状態）

【芽依】「ひやああ、ひや……う、動いて……ますよお……ゆっくり、お尻にっ……め、めり込んでっ……ひやう、んうううっ！！」

【芽依】「う、はあっ、ふああっ……まだ、はじめの……んお、いつかいめええっ……はあ、はふ、太いの……なかに……はふうっ……来てりゅっ……」

【芽依】「はああ、はああっ……おひり、しゅお、しゅおい……メリメリ、いってりゅ……んああっ、あひや……」

【芽依】「う……んっんふううっ……！ じえったい……痛いと思っただのにっ……穴が、ギリギリ、ビリってしゅりゅ……ふああんっ」

【芽依】「ひっ、ひうっ、ひいいっ……ひろがつひやうっ……おしりの穴っ……変な棒で、太いので……んあ、あああっ！！」

【芽依】「ふああっ！ あ……中にっ、入って……くりゅうっ……半分まで埋まってりゅっ……ふあ、あひやああっ！！」

【店長】「よろこんでる場合じゃないでしょ？ まだ腰も下ろしきついてないのに」

【芽依】「んひやあああっ、あひやつ……ごめんなひやいっ……うは、ひあああっ……お尻なのに、キツイのに……きもひいいっ……」

（ディルドの根元まで肛門で飲み込み、一往復の半分を達成）

(快樂に溺れはじめ、往復のスピードが速くなる)

【芽依】「うはあ、ひやはああつ、奥までつはつ、入った……今度はあ、あひやつ……ぬ、ぬくによ……んううつ！」

【芽依】「ひやふうううううううつ!!!! きつ、きもひいいいいい
っ!!!!!!」

【芽依】「うは、んはああつ! あなから、にゆけりゆつ……うあ、あひやあああ
っ!!!!!!」

【芽依】「ほああつ、うあ……ちゅぎつ……よつ、よおおおおんつ!!!! んくつ!!
んほおおおおつ!!!!!!」

【芽依】「んはあ、ひやああつ!!!! ふあ……ヌプって、入ったああつ……しゅぐ、根元
までつ……おつ、おとおおおつ!!!!」

【芽依】「うごつ!! ごおおおおおおおおおおおおおおつ!!!!」

【芽依】「しゅぐつ、にゆいてええつ……んお、おあああつ! にゆいてつ、イツ! いれ
てえええつ!!!! んはあああああつ!!!!!!」

【芽依】「お、んおおつ、ろつ、ろおおおおつ……くううつ!!!! んあつ、はおお
っ!!!!」

【芽依】「んひつ! ひつ、ひいいいいいっ、ちいいいいいっ!! ふひやあああああつ、あ
はあああああつ!!!!!!」

【店長】「足がフラついてるわよ。ちゃんとオマンコ晒しなさい」

【芽依】「んはつ、はつ、はひいいいいいっ!!!! おみゃんこつ、さ、さらひまひゅう
っ!!!!」

【芽依】「あ、あひ、ひらいてえ……お尻が、きもちよくて……トロトロのうお、おつ、オ
マンコ……みせまひゅつ……」

【芽依】「しゅくわつともお……んおつ!! お……つつ、つづけまひゅつ……! いちか
ら、ななまでつ……つづいてましゅつ……!!」

【芽依】「はつ、は……ちっ!! はひゅううつ!! んあつ、ああああつ!!!! おひり
っ、おしり、しゅぐいいいいいっ!!!!!!」

【芽依】「しゅくわつとお、しゅぐく……きもひいのつ……はう、もつと……もつとはげし
きゅつ、んお、う、うごきゅのおつ……!!!!!!」

【芽依】「んおおつ、んほおおつ!!!! うひやあ、んほあああつ! んお……でい、でるど
で……もつと……強く、ほじって……んおおつ!!!!」

【芽依】「はあつ、はつ、はあああつ!!!! んお……い、イツちゃう、きちやうつ……で、で
も……とめちゃ、らめ……んううつ!!!!」

【芽依】「きゅ、きゅううううううううううううつ!! じゅうつ!!!! んあおおつ、
おおつ……!!!!」

【芽依】「じゅういちっ！ んふううっ！ じゅうにいつ！！ ひやううううっ！！
じゅ、じゅっ……さあああああんっ！！！！」

【芽依】「んはおおっ！！ も、もつとお……はう、らめ……また、イツ……！！ いつ、
ひやうっ！！」

【芽依】「うあ、あああつ……ま、みや、だっ……じゅ、よん……んお、おおおっ……！！
はあつ、うひやああつ……！！」

【芽依】「……う……んはっ、ひやううっ！！ じゅうっ……う……ごおおおおおっ……
……！！ おはああつ！！」

【芽依】「ま……だっ……はん……ぶん……うひや、あ、あは……アソコまで……うずいひ
やうっ……ふおあつ、んおあつ……」

【芽依】「じゅう……ろ……おおおおおくっ……んふううっ！！ じゅ……じゅっ……うあ、
な……はっ……ななっ！！！！」

【芽依】「もっ……んおつ、もつ、だ、め……っ！ あひや……はううっ！！」

【芽依】「いぐっ！！！！ イッ……いいいいいいっ！！！！！！ いはああああああ
あああああっ！！！！！！！！！！」

（絶頂で完全に動きを止めてしまう）

【芽依】「はううううっ！！ んあおつ、おっ！！！！ んおおおおおおおとおお
おおっ！！！！！！！！！！」

【芽依】「んほおおおっ！！！！ んあおっ！！！！ おひりいいいいっ！！ イヒイイ
イイイイイイイイイッ！！！！！！！！！！」

（間）

【芽依】「うあ、あつ、んああああつ！ あしっ、あ、あしっ……！！ んはああつ……
……！！ た、たてにやいつ……！！！！！！！！！！」

【芽依】「だめえええっ！！！！ 足がっ……うあつ！ あうううっ！！！！ あし……も、
だ……め……」

【芽依】「あはああああああああああああつ！！！！ んお、んあああああああああ
ああああああああああつ！！！！！！！！！！」

7.	ごめんなさいごめんなさい許してください 連絡だけはしないでください
非公開	
8.	絶望
非公開	
9.	おまけ1 デイルドの販売デモンストレーション ※ループして聞いてね！
非公開	
10.	おまけ2 ハーブ+ローターの販売デモンストレーション ※ループして聞いてね！
非公開	
11.	サークル挨拶音声（購入者用）キャラづくりする必要なく、事務的に読んで下さい
	「サークル、ケチャップ味のマヨネーズ」
	「この度は本作品をご購入いただきありがとうございます」
	「本作品は音声作品です。イヤホンやヘッドホンなどを使用して」
	「椅子に座ったり、ベッドに横になるなどしてリラックスした状態でお聞き下さい」
	「音声に気をとられすぎて椅子やベッドから落ちたり」
	「物にぶつかるなどして怪我などしないようお気をつけ下さい」
	「また、イヤホンやヘッドホンの端子が抜けていることに気づかず」
	「スピーカーから大音量で本作品を再生した場合、あなたの人生に深刻な問題を発生させる恐れがありますのでくれぐれもご注意ください」
	「それでは、本編をお楽しみ下さい」
12.	体験版ダウンロードの案内音声
	「この度は体験版をダウンロードいただきありがとうございました」
	「体験版をご試聴いただき、気に入っていただきましたら
	製品版をご購入いただけるととてもうれしいです」
	「今後ともサークル、ケチャップ味のマヨネーズをよろしく願ひいたします」